



しわちょうしゃかいふくしきょうぎかい
紫波町社会福祉協議会

社会福祉法人 紫波町社会福祉協議会

岩手県紫波郡紫波町二日町字古館356-1 紫波町総合福祉センター内

TEL:019-672-3258 FAX:019-672-5039

e-mail : shiwa-shakyo@ce.wakwak.com

ホームページ : <http://www.shiwa-shakyo.or.jp/>

facebook : <https://www.facebook.com/siwashakyo/>

HPはこちらから▼



FBはこちらから▼



しわ社協たより

令和5年

6
JUN

225号

基本目標

「誰もが安心して暮らすことができる福祉でまちづくり」



第25回 岩手県障がい者スポーツ大会

6月3日(土)岩手県営運動公園で岩手県障がい者スポーツ大会が開催されました。紫波町からは21名出場し日頃の練習の成果を発揮しました。紫波町身体障がい者福祉協会からはソフトボール投げと走り幅跳びに出場しそれぞれが金メダルを獲得！雨が心配でしたが、選手の熱気とともに晴れ間が広がり気温も上昇した一日でした。

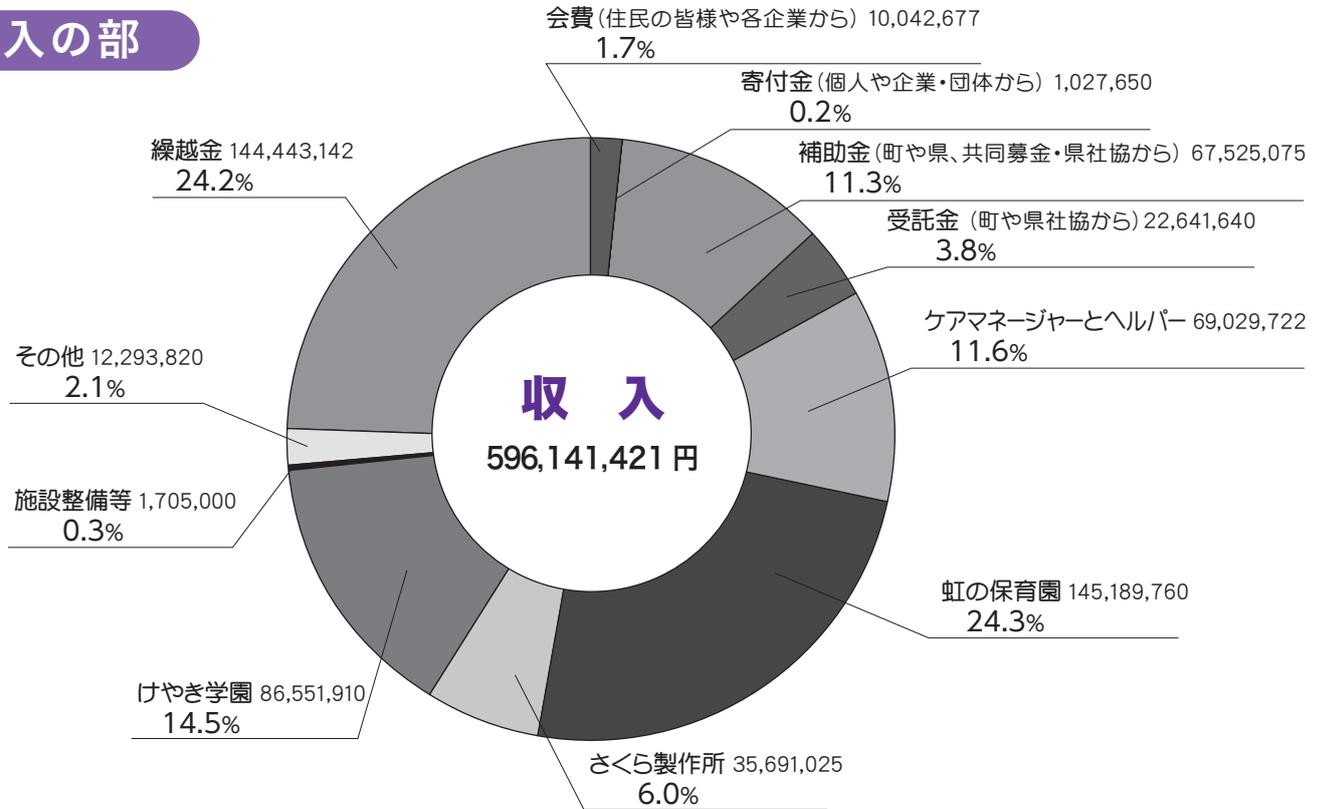
CONTENTS

- ◆ 令和4年度収支決算 …… 2P
- ◆ 令和4年度事業報告 …… 3P
- ◆ お知らせ …… 4P

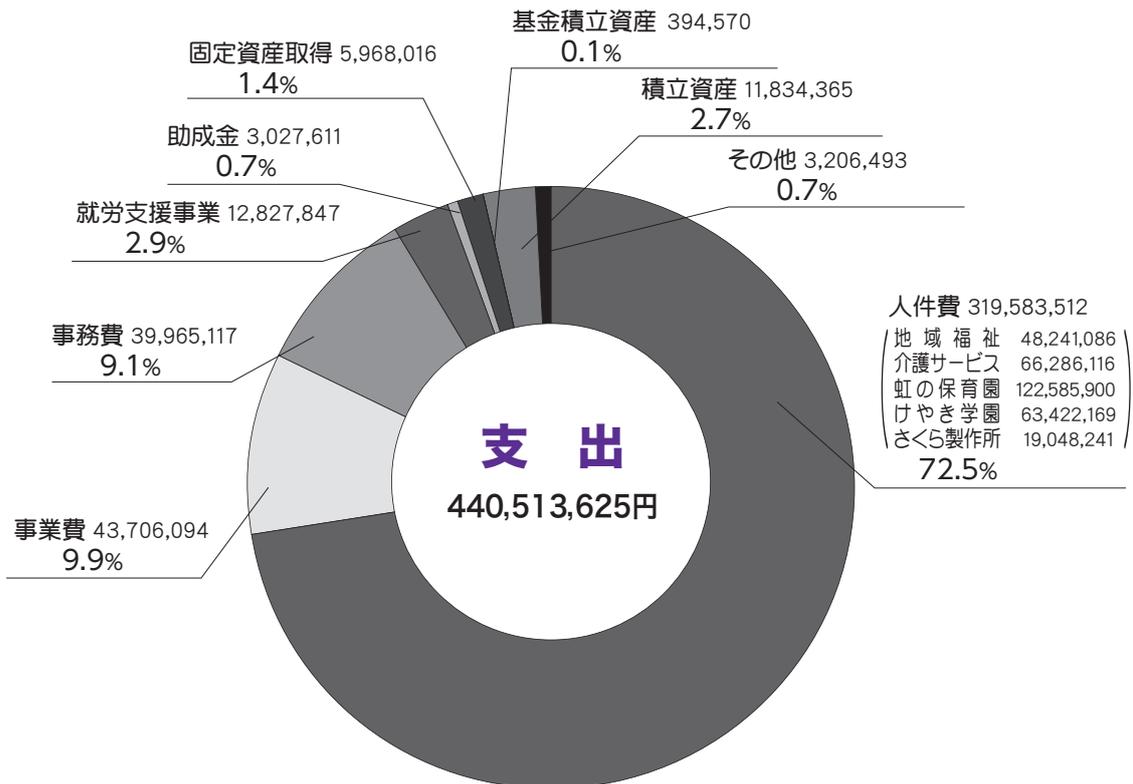
令和4年度 収支決算(法人全体)

令和5年3月31日現在 (単位:円)

収入の部



支出の部



令和4年度 事業報告

たくさんのご支援、ご協力ありがとうございました。

福祉活動推進事業

◆金婚を祝う会の開催

長年、苦楽を共に歩んだ夫婦の結婚50周年を祝した 2組4名

◆車椅子等貸与事業(保有14台)

歩行困難者の日常生活支援のため、6か月間を限度に、無料で貸出した 貸出延数 40台

ボランティアセンター事業

◆高齢者サロン「いこいの家」ボランティア

各地区の「いこいの家」運営にボランティアが携わった 延べ人数 785名

◆配食ボランティア

65歳以上の一人暮らしの方や、概ね75歳以上の夫婦世帯に昼食のおかずを届けながら見守りの安否確認を行った

ボランティア登録者 46名

共同募金配分事業

◆ふれあいフェスタの開催

障がいのある20歳から63歳までの方が作製した作品、21点が集まり展示。町内の親の会と紫波総合高校生徒が共同作製した家族写真を展示しました。また、コロナ禍後、芝生エリアでは福祉事業所による販売を行いました



資金貸付事業

◆生活福祉資金(県社協委託事業)

低所得者や高齢者、障がい者の方が属する世帯へ資金の貸付けと必要な相談支援を行うことで世帯の安定と経済的自立を図るための貸付

利用件数 7件

◆生活福祉資金特例貸付(県社協委託事業)

新型コロナウイルス感染症の影響による休業や失業等により、生活資金でお悩みの方に対する貸付

利用件数 9件

町受託事業

◆ふれあい相談所

住民の抱えている問題解決に援助、協力するため、無料相談所を開設した

毎月第1・第3水曜日 相談件数62件

◆元気はつつサロン「ふれ愛交流館」

介護保険要支援に準じた高齢者(町認定者)を対象に実施した

・開設日数 195日(火曜日から金曜日)

・延べ利用者数 1,139名

・実施内容 健康管理、趣味創作、給食、季節行事他

介護サービス事業

◆居宅介護支援事業

介護保険において要介護認定を受けた方の介護サービス計画(ケアプラン)の作成等を行った

介護支援専門員数 5名

利用者数 152名(要支援13名含む)

◆訪問介護事業

介護保険において要介護認定者へ訪問介護サービスを提供した

利用者数 78名 訪問回数 8,762回

◆障がい者総合支援・移動支援事業

身体障がい、精神障がい、知的障がいのある方へ訪問介護や外出支援を提供した

利用者数 16名 訪問回数 163回

◆基準緩和訪問型サービス

介護保険において要支援者や役場に申請して対象となった方に訪問介護サービスを提供した

利用者数 25名 訪問回数 1,217回

施設運営

◆虹の保育園、地域子育て支援センターの運営

保育園入所児童数 128名

支援センター相談数 23件

◆けやき学園の運営

18歳以上の障がい者の雇用が困難な方の活動の場として通所施設の運営

登録者数 43名

年間延べ利用者数 8,833名

◆さくら製作所の運営

一般企業で雇用されることが困難な障がいのある方を対象として働く場を提供する施設の運営

登録者数 20名

年間延べ利用者数 3,654名



お知らせ

●まごころ

令和5年4月～令和5年5月まで

●寄付

株伊藤園 様 45,158円

役員の改選がありました

役員の任期満了に伴い令和5年6月9日、定時評議員会にて役員(理事・監事)が新たに選任されました。また、同日に理事会を開催し、理事の互選にて会長と副会長が選任されました。

【任期】令和5年6月9日～令和6年度に関する定時評議員会の終結の時まで

役職	氏名	所属等
会長	近藤 英一(再)	学識経験者
副会長	石亀 孝文(再)	町民生児童委員協議会会長
副会長	細川 恵子(再)	NPO法人紫波さぶり理事長
常務理事	谷地 舘勝(新)	町社会福祉協議会事務局長
理事	中田 秀男(再)	町生活部長
理事	鷹 觜 武寿(再)	けやき学園施設長
理事	藤尾 天右(再)	特別養護老人ホーム にいやま荘施設長
理事	阿部 敏博(再)	町行政区長協議会会長
理事	富岡 敦子(再)	町連合婦人会会長
理事	岡市 久美子(再)	赤石地区社会福祉協議会事務局
理事	菅 沼 幸夫(再)	町民生児童委員協議会副会長
監事	高橋 康一(再)	学識経験者
監事	簀 福 正美(再)	学識経験者
監事	水本 千恵子(再)	学識経験者



役員一同よろしくお願いたします



◆電話番号が記載されている欄についてはそちらにお問い合わせください。それ以外のお問い合わせは

電話：019-672-3258
 紫波町社会福祉協議会 F A X：019-672-5039
 E-mail：shiwa-shakyo@ce.wakwak.com

令和5年度 食とのつながり・つながるプロジェクト 運営団体募集

紫波町社会福祉協議会では、これまでNPO法人フードバンク岩手等と連携し「こども食堂(たんぼぼ食堂)」を運営しており、ひとり親世帯等を対象に食事や食料品の提供を行っていますが、支援活動を実践する団体に対し助成を行いますので、応募をお待ちしております。

■助成団体 4団体 (地域において生活課題等を解決するための支援活動をしている団体。民間非営利団体であることを要件とします。法人格の有無は問いません。)

■助成額 1団体当たり 10万円(上限)

■助成対象事業

民間の相談支援、食支援、学習支援、居場所支援など、地域に密着して行われる多様な生活支援活動

(1) 新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受け、子どもや家族、高齢者等を緊急的に支援する活動や社会的に孤立することが懸念される方々の相談支援活動等

(2) 支援活動の効果や緊急性が高く、活動に伴う経費の必要性が認められる事業

(3) 営利を目的としない事業

(4) 令和5年5月1日から令和6年1月末日までに実施する事業

■お問合せ先 電話・FAX・E-mailはページ最下部の連絡先まで



※紫波町社会福祉協議会は持続可能な開発目標(SDGs)を取り組み・支援しています。

第2次紫波町地域福祉活動計画 完成しました

令和5年度から令和9年度までの5年間で期間とした「第2次紫波町地域福祉活動計画」を策定しました。

「みんなで助け合い誰もが安心して暮らすことができる福祉でまちづくり」を実現するため、この計画は、わたしたちが取り組んでいく目標(ゴール)への羅針盤です。

3つの目標(ゴール)に向けて、9つの基本施策を設定しています。

このまちを誰もが住みよい素晴らしいまちにしていきたいでしょう!

目標1

助け合い
支え合おう

目標2

困りごとを
みんなで
受け止めよう

目標3

安心・安全な
くらしを



この社協だよりは、皆様から寄せられた赤い羽根共同募金の助成を受けて発行しています。